

事 務 連 絡  
平成 30 年 6 月 6 日

各都道府県建設業協会  
専務理事・事務局長 殿

一般社団法人 全国建設業協会  
専務理事 伊藤 淳  
〔 公 印 省 略 〕

### i-Construction ロゴマークについて

平素は、本会の活動につき格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、国土交通省技術調査課 i-Construction 推進コンソーシアム事務局より、i-Construction ロゴマークが決定した旨連絡がありました。

同事務局からの留意事項として、ロゴマークの使用にあたっては、事前の使用申請などは求めませんが、使用マニュアルの使用例等を参考に、i-Construction の推進に向けた普及・促進を目的として使用するよう求められています。なお、ロゴマークは商標登録を済ませていることから、上記の目的から著しく逸脱していると見受けられる場合は、使用の差し止めを求められることがあります。

つきましては、ご多忙の折、誠に恐縮ですが、貴会会員企業の皆様にご周知賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

【国土交通省 報道発表HPアドレス】

[http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08\\_hh\\_000493.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_000493.html)

【ロゴマーク及び使用マニュアル(i-Construction 推進コンソーシアムHP)】

[http://www.mlit.go.jp/tec/i-construction/i-con\\_consortium/rogo\\_document.html](http://www.mlit.go.jp/tec/i-construction/i-con_consortium/rogo_document.html)

以上

【担当】事業部 木下 TEL : 03-3551-9396 FAX : 03-3555-3218 E-mail : <a href="mailto:jigyo@zenken-net.or.jp">jigyo@zenken-net.or.jp</a>
---



***i-Construction***

「i-Construction」の取組が、建設業界はもちろん、業界を超えて社会全体から応援される取組へと「深化」するシンボルとして、2018年6月1日にロゴマークを決定・公表しました。

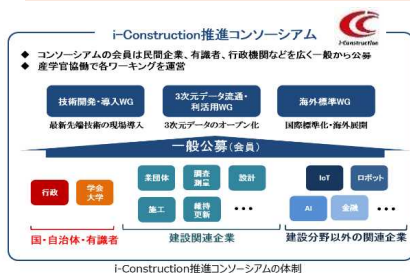


○ロゴマークの使用にあたって、事前の使用申請などは求めませんが、下記の使用例等を参考として、「i-Construction」の推進に向けた普及・促進を目的としてご使用ください。

○本ロゴマークは商標登録を済ませており、上記の目的から著しき逸脱していると見受けられる使用方法の場合は、使用の差し止めをお願いすることがあります。

## 【ロゴマークの使用例（案）】

- ウェブサイト、建設機械やUAV等、ヘルメットや作業着、建設現場の看板や仮囲い等、名刺、ポスター、チラシ、バッジ、キーホルダー、クリアファイル など





「革新的テクノロジーが、日本の建設現場を劇的に変えていく。  
その原動力が、日本を次のステージへと押し進めていく。」  
というデザインメッセージを  
拡がりとスケール感のあるオーバル型の“iC”で表現。  
赤は日本、誇りをイメージしています。

基本タイプ →



***i-Construction***

横タイプ →



***i-Construction***

横長タイプ →

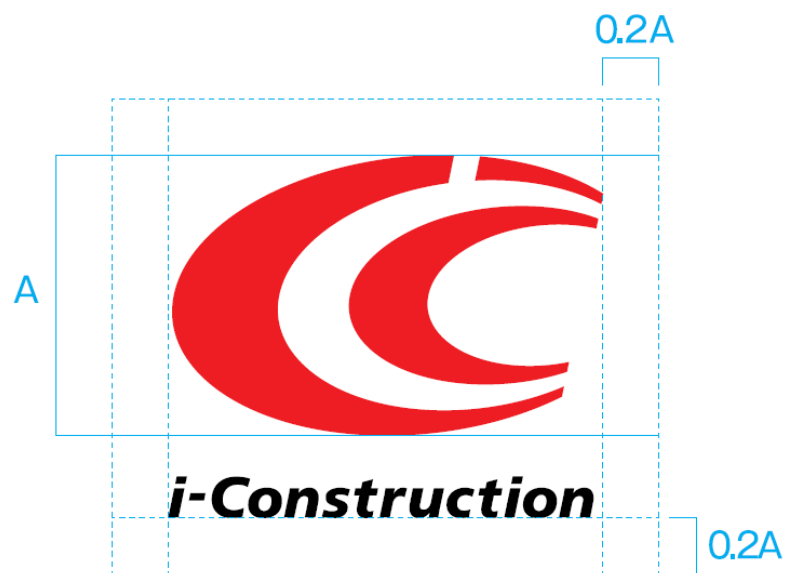


***i-Construction***

※原則として基本タイプの使用を推奨しますが、媒体のサイズや場所によって、「i-Construction」のイメージを最大限に発揮できるバージョンを選択してください。

## 保護領域 及び 最小サイズ (目安)

- 基本タイプを使用する際は、ロゴマークの天地をAとし、ロゴマーク上下左右0.2Aの幅の内側を保護領域とし、その内側に他要素が入らないよう配慮してください。
- 基本タイプについては、天地は10mm、デジタルの場合は55px以上のサイズとなるよう配慮してください。



10mm  
デジタルの場合 55px



## 保護領域 及び 最小サイズ (目安)

- 横タイプを使用する際は、ロゴマークの天地をAとし、ロゴマーク上下左右0.2Aの幅の内側を保護領域とし、その内側に他要素が入らないよう配慮してください。
- 横タイプについては、天地は6mm、デジタルの場合は30px以上のサイズとなるよう配慮してください。



## 保護領域 及び 最小サイズ (目安)

- 横長タイプを使用する際は、ロゴマークの天地をAとし、ロゴマーク上下左右0.5Aの幅の内側を保護領域とし、その内側に他要素が入らないよう配慮してください。
- 横長タイプについては、天地は2mm、デジタルの場合は10px以上のサイズとなるよう配慮してください。



2mm  
デジタルの場合 10px





## カラー規定

- 原則として印刷上で色数が制限されない限り、2色カラーバージョンを使用してください。カラー単色は用途に応じて使い分けてください。

□ 2色カラー	 <b>i-Construction</b>	カラーチップ <b>PANTONE 199C</b>  <b>PANTONE 419C</b>	CMYK <b>M100% Y100%</b>  <b>C100% M100% Y100% K100%</b> <small>※インク総使用量の制限がある場合は変更可能</small>	RGB <b># C80014</b>  <b># 000000</b>
□ カラー単色	 <b>i-Construction</b>	<b>PANTONE 199C</b>	印刷上カラー1色という制限がある場合のみ使用。	
□ モノクロ	 <b>i-Construction</b>	<b>K100%</b>	印刷上カラーが使用できない場合のみ使用。	

# i-Constructionロゴマーク 背景について

## 背景について

- ロゴマークは、矩形がしっかり認知できることを最優先とし、この矩形がしっかり認識できることを前提にロゴマークと背景色を決定してください。
- 通常、反転は望ましくありませんが、矩形が認知できない場合はロゴマークの視認性確保のため、下記の表を参考に色を反転いただいて構いません。

2色カラー\_基本



2色カラー\_反転



カラー単色\_基本



カラー単色\_反転



モノクロ\_基本



モノクロ\_反転



矩形が認知できない背景例(青枠部分)

2色カラー_基本														
2色カラー_反転														
カラー単色_基本														
カラー単色_反転														
モノクロ_基本														
モノクロ_反転														

## 望ましくない使用例

- i-Constructionロゴマークのイメージ確立のため、下記に望ましくない使用例を提示しますので、ロゴマーク使用の際に参考としてください。

 <b>i-Construction</b> 構成要素の削除	 <b>i-Construction</b> 規定以外での縦横比の変更	 <b>i-Construction</b> 規定以外での構成要素の比率を変更する	 <b>i-Construction</b> 立体化する	 <b>i-Construction</b> 影付き
 <b>i-Construction</b> 回転する	 <b>i-Construction</b> バースをつける	 <b>i-Construction</b> フォントの変更	 <b>Construction</b> 文字組の変更	 <b>i-Construction</b> 低画質での使用
 <b>i-Construction</b> アウトライン表示にする	 <b>i-Construction</b> 線どりをつける	 <b>i-Construction</b> 規定以外のカラーへの変更	 <b>i-Construction</b> 一部規定以外のカラーへの変更	 <b>i-Construction</b> グラデーションをつける
 <b>i-Construction</b> 透明度の変更	<b>i-Construction</b> ログタイプのみを使用	日本を次のステージへと 推し進める原動力のシンボル として  <b>i-Construction</b> を 新スローガンとして発表します。 文中利用の禁止	革新的テクノロジー  <b>i-Construction</b> アイソレーション内への他要素の追加	 <b>i-Construction</b> 複雑な模様の上での使用